

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月22日

上場取引所 東

上場会社名 モーニングスター

コード番号 4765 URL <http://www.morningstar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 平成26年10月30日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,930	1.5	552	11.0	563	4.0	353	11.4
26年3月期第2四半期	1,902	72.8	498	59.6	542	51.0	317	42.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 353百万円 (6.7%) 26年3月期第2四半期 331百万円 (48.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	4.30	—
26年3月期第2四半期	3.87	—

潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	8,658	8,104	93.6	98.55
26年3月期	8,679	8,095	93.3	98.44

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 8,104百万円 26年3月期 7,753百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	4.20	—
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の期末における配当予想額は現時点で未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想につきましては、現時点では合理的な見通しを立てることが困難なため、未定であります。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	83,973,600 株	26年3月期	83,973,600 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,735,200 株	26年3月期	1,735,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	82,238,400 株	26年3月期2Q	82,238,400 株

当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成27年3月期期末の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。業績予想につきましては、今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (1) 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）の連結業績は、売上高が前年同期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の1,902百万円から28百万円（1.5%）の増収となる1,930百万円となりました。

また、売上原価は、前年同期間の958百万円から17百万円（1.8%）増加し975百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期間の446百万円から44百万円（9.9%）減少し402百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期間の498百万円から54百万円（11.0%）の増益となる552百万円となりました。

営業外損益が、前年同期間と比べ、純額で33百万円減少した結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期間の542百万円から21百万円（4.0%）の増益となる563百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同期間の317百万円から36百万円（11.4%）の増益となる353百万円となりました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第2四半期連結累計期間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ファイナンシャル・サービス事業					
コンサルティング	340,274	17.9	225,826	11.7	△33.6
データ・ソリューション	742,337	39.0	772,278	40.0	4.0
メディア・ソリューション	323,092	17.0	298,689	15.5	△7.6
計	1,405,704	73.9	1,296,794	67.2	△7.7
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	497,253	26.1	634,186	32.8	27.5
計	497,253	26.1	634,186	32.8	27.5
連結売上高	1,902,958	100.0	1,930,980	100.0	1.5

#### 1) ファイナンシャル・サービス事業

##### ・コンサルティング

確定拠出年金関連やIR説明会の売上が増加いたしました。ウェブ・コンサルティングや資産運用セミナーの売上が減少し、平成26年2月に上海サーチナ（新秦商務諮詢（上海）有限公司）を売却し、同社のリサーチ事業の売上が無くなりました。その結果、コンサルティングの売上高は、前年同期間の340百万円から114百万円（33.6%）の減収となる225百万円となりました。

##### ・データ・ソリューション

タブレットアプリを中心としたファンドデータ関連の売上やファンドレポートの売上が増加し、株式新聞WEB版の売上も増加いたしました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同期間の742百万円から29百万円（4.0%）の増収となる772百万円となりました。

##### ・メディア・ソリューション

モーニングスターウェブサイトのウェブ広告は増加いたしました。サーチナウェブサイトのウェブ広告が減少いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同期間の323百万円から24百万円（7.6%）の減収となる298百万円となりました。

#### 2) アセットマネジメント事業

##### ・アセットマネジメント

SBIアセットマネジメント株式会社の投資委託者報酬が大幅に増加し、アセットマネジメントの売上高は、前年同期間の497百万円から136百万円（27.5%）の増収となる634百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期間の1,405百万円から108百万円(7.7%)の減収となる1,296百万円となりました。セグメント利益は、前年同期間の423百万円から22百万円(5.4%)の増益となる446百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期間の497百万円から136百万円(27.5%)の増収となる634百万円となりました。セグメント利益は、前年同期間の74百万円から32百万円(43.0%)の増益となる106百万円となりました。

(4) 事業上および財務上の当社が対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して20百万円減少し、8,658百万円となりました。

これは、流動資産が前連結会計年度末と比較して14百万円減少し、7,223百万円となり、

固定資産が前連結会計年度末と比較して6百万円減少して、1,434百万円となったことによるものであります。

流動資産の減少は、主として現金及び預金が162百万円減少した一方、売掛金が111百万円増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して29百万円減少し、553百万円となりました。

負債の減少は、主として法人税等の支払のタイミングにより、未払法人税等が62百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間に353百万円の四半期純利益が計上され、345百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が8百万円増加いたしました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して8百万円増加し、8,104百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ423百万円増加し、6,424百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期間と比べ、44百万円減少し、217百万円の獲得となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が前年同期間と比べ21百万円増加した一方、法人税等の支払が54百万円増加し、利息及び配当金の受取額が前年同期間に比べ41百万円少なくなったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期間と比べ、829百万円増加し、550百万円の獲得となりました。

これは、主として、前年同期間に231百万円あった子会社株式の取得がなかったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期間に比べ、69百万円減少し、345百万円の支出となりました。

これは、主として期末配当金の支払が前年同期間の275百万円から、当第2四半期連結累計期間は344百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場において、その動向を当期を通じて、想定するのは難しく、当社グループの業績を、現時点では合理的な算定を行なうことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社は子会社SBIサーチナ株式会社を、平成26年9月1日に合併いたしました。

詳細は、第4. 「経理の状況」1. 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合等関係）に記載のとおりであります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,572,413	6,410,059
売掛金	469,914	581,312
有価証券	79,356	79,371
たな卸資産	※1 8,643	※1 7,847
繰延税金資産	22,309	21,539
その他	85,371	123,237
流動資産合計	7,238,008	7,223,368
固定資産		
有形固定資産	※2 42,387	※2 52,467
無形固定資産		
のれん	940,406	914,682
ソフトウェア	182,623	176,571
その他	36,334	65,767
無形固定資産合計	1,159,364	1,157,021
投資その他の資産		
投資有価証券	5,410	5,410
繰延税金資産	5,446	7,574
その他	228,398	212,290
投資その他の資産合計	239,256	225,276
固定資産合計	1,441,008	1,434,765
資産合計	8,679,017	8,658,134

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,960	34,897
未払金	193,953	227,920
未払法人税等	282,404	220,086
未払消費税等	23,630	52,031
その他	17,752	17,653
流動負債合計	581,701	552,589
固定負債		
リース債務	1,400	1,061
固定負債合計	1,400	1,061
負債合計	583,102	553,650
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,115,620	2,115,620
資本剰余金	3,231,322	3,231,322
利益剰余金	2,927,419	2,935,988
自己株式	△178,447	△178,447
株主資本合計	8,095,915	8,104,483
純資産合計	8,095,915	8,104,483
負債純資産合計	8,679,017	8,658,134



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,902,958	1,930,980
売上原価	958,162	975,345
売上総利益	944,795	955,635
販売費及び一般管理費	※1 446,723	※1 402,651
営業利益	498,072	552,983
営業外収益		
受取利息	42,593	964
有価証券売却益	—	9,407
為替差益	—	547
その他	2,604	52
営業外収益合計	45,197	10,971
営業外費用		
支払利息	53	40
為替差損	609	—
株式交付費	305	—
その他	209	135
営業外費用合計	1,177	175
経常利益	542,092	563,779
税金等調整前四半期純利益	542,092	563,779
法人税、住民税及び事業税	220,991	211,167
法人税等調整額	579	△1,358
法人税等合計	221,570	209,809
少数株主損益調整前四半期純利益	320,521	353,970
少数株主利益	2,653	—
四半期純利益	317,867	353,970

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	320,521	353,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,016	—
為替換算調整勘定	7,131	—
その他の包括利益合計	11,148	—
四半期包括利益	331,669	353,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329,219	353,970
少数株主に係る四半期包括利益	2,449	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	542,092	563,779
減価償却費	45,437	40,321
長期前払費用償却額	3,898	3,190
のれん償却額	25,820	26,357
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△85	—
受取利息及び受取配当金	△42,593	△964
支払利息	53	40
株式交付費	305	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△9,407
為替差損益 (△は益)	△72	△374
売上債権の増減額 (△は増加)	△72,002	△111,398
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,165	796
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,100	△29,063
未払金の増減額 (△は減少)	△19,241	17,496
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△26,966	△38,605
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△14,261	29,377
小計	428,118	491,545
利息及び配当金の受取額	42,618	1,077
利息の支払額	△53	△40
法人税等の支払額	△220,620	△274,746
法人税等の還付額	12,128	△8
営業活動によるキャッシュ・フロー	262,191	217,827
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△64,667
定期預金の払戻による収入	—	650,575
有形固定資産の取得による支出	△2,260	△3,440
無形固定資産の取得による支出	△58,728	△54,266
投資有価証券の売却による収入	10,717	1,109,407
子会社株式の取得による支出	△231,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△1,100,000
敷金及び保証金の回収による収入	2,358	12,917
投資活動によるキャッシュ・フロー	△278,912	550,526
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△275,021	△344,835
リース債務の返済による支出	△312	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△275,333	△345,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,438	374
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△283,616	423,567
現金及び現金同等物の期首残高	1,979,355	6,001,296
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,695,740	※1 6,424,865

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
仕掛品	955千円	700千円
貯蔵品	7,688	7,147

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
	198,885千円	203,807千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
従業員給与	149,775千円	138,036千円

(四半期連結キャッシュ・フロー関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	1,816,727千円	6,410,059千円
有価証券	4,279,337	79,371
証券口座預け金(その他流動資産)	91	101
3ヶ月超の定期預金	△200,415	△64,667
現金同等物以外の有価証券	△4,200,000	—
現金及び現金同等物の四半期連結会計 期間末残高	1,695,740	6,424,865

(株主資本関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当金支払額

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年5月23日 取締役会	普通株式	利益剰余金	274,128	1,000	平成25年3月31日	平成25年6月3日

(注) 当社は、平成25年7月1日付で、株式1株につき300株の株式分割を行っております。

上記の前連結会計年度(平成25年3月期)の期末配当金は、株式分割後の株式数で計算すると3.33円に相当いたします。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当金支払額

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成26年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	345,401	4.20	平成26年3月31日	平成26年6月3日

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

共通支配下の取引等

1 結合当事企業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

SBIサーチナ株式会社

事業の内容：日本最大の中国情報サイト『サーチナ』(<http://searchina.ne.jp/>)の運営、金融機関への香港、中国大陸市場データ及び企業情報の提供、メディアへの情報配信

(2) 企業結合日

平成26年9月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、SBIサーチナ株式会社は解散いたしました。

(4) 結合後企業の名称

モーニングスター株式会社

(5) 取引の目的を含む取引の概要

当社は、「中立・客観的立場から豊富で偏りのない金融情報を提供し、投資家の皆様の資産形成に役立つこと」を目指しております。その一環として、投資家の皆様へ提供する海外金融情報を充実することが重要と考えております。

SBIサーチナ株式会社は、日本最大の中国情報サイト『サーチナ』(<http://searchina.ne.jp/>)の運営のほか、金融機関への香港、中国大陸市場データ及び企業情報の提供、Yahoo、MSN等複数メディアへの情報配信等を行っております。

当社は平成24年10月12日にSBIサーチナ株式会社の株式を取得し、子会社とすることにより、当社グループとして、急速な成長を遂げているアジア、特に中国に関連した情報配信を拡充し、投資家のみなさまの情報ニーズに応じてまいりました。

一方、当社は、世界27拠点をもつグローバルなモーニングスター・インクとの提携のもと、国内屈指の金融情報サイト『モーニングスターウェブサイト』(<http://www.morningstar.co.jp/>)、証券専門新聞として国内最大の発行部数を誇る日刊『株式新聞』、『株式新聞WEB版』ほかで、国内の投資家の皆様に、北米、欧州を中心に海外金融情報を提供してまいりました。

SBIサーチナ株式会社の子会社化から1年9ヶ月が経過し、2社による海外金融情報の提供状況、当社グループの今後の事業展開、事業の効率化などを総合的に勘案した結果、投資家の皆様へより充実した海外金融情報を提供し、法人のお客様により円滑に総合的なサービスを提供するためには、両社が保有する海外金融データなどの経営資源を統合し、組織をひとつにして運営する必要があると判断し、合併を決定いたしました。

なお、当社は、SBIサーチナ株式会社の発行済株式の全部を保有しており、本合併による新株式の発行および資本金の増加はありません。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,405,704	497,253	1,902,958	—	1,902,958
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,832	—	12,832	△12,832	—
計	1,418,536	497,253	1,915,790	△12,832	1,902,958
セグメント利益	423,379	74,763	498,142	△70	498,072

当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,296,794	634,186	1,930,980	—	1,930,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,406	483	12,889	△12,889	—
計	1,309,200	634,669	1,943,870	△12,889	1,930,980
セグメント利益	446,076	106,907	552,983	—	552,983

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する項)

(単位：千円)

売上高	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,915,790	1,943,870
セグメント間取引消去	△12,832	△12,889
四半期連結損益計算書の売上高	1,902,958	1,930,980

(単位：千円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	498,142	552,983
セグメント間取引消去	△70	—
四半期連結損益計算書の営業利益	498,072	552,983

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

平成25年5月24日に、子会社SBIサーチナ株式会社の株式を追加取得し、完全子会社といたしました。それに伴い、のれんを128,239千円計上いたしました。当該のれんの報告セグメントは、ファイナンシャル・サービス事業であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	3円87銭	4円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	317,867	353,970
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	317,867	353,970
普通株式の期中平均株式数(株)	82,238,400	82,238,400
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものではありません。		

(注) 当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。